



2日間で36㎡を施工。手前は前回の施工箇所

# 伊勢生コン 協組など

# 1 DAYで施工見学会

## 宮川浄化センター構内道路に36平方メートル

伊勢生コンクリート協組（長）と全生工組連は9日、三重県伊勢市の宮川

浄化センターの用地において早期交通開放型コンクリート舗装「1 DAY PAVE」の施工見学会を開催した。構内道路に面した36平方メートルを8日、9日の2回に分けて施工。勾配4%をスランプ18センチで打設した。8日の施工箇所は打設から約16時間で曲げ強度5N/mm程度を確保した。見学会は全生工組連東海地区本部、三重県生コンクリート工業組合、セメント協会、太平洋セメント、宇部三菱セメント、住友大阪セメントと共催し、

国土交通省や伊勢市等の地方自治体関係者、建設業者等約110人が参加した。

見学会冒頭のあいさつで石川理事長は「県内で『1 DAY PAVE』施工見学会は中勢鈴鹿、北勢地区に続く4回目が発注者にはこの機会に認識を深めてもらいたい」。諸角富美男太平洋セメント中部北陸支店長は「セメントおよび生コンの需要は大幅に回復する見込みはなく、需要開拓が必要。引き続き発注者や施工業者の理解を

いただき『1 DAY PAVE』の普及を図りたい」とそれぞれ話した。舗装構造は、版厚が鉄網入りの約20センチ、生コンの打設量は約8㎡。目標曲げ強度は材齢7日で5・4N/mm。配合は早強ポルトランドセメントを使用し、水セメント比34・9%、空気量4・5%（±1・5%）、スランプ18センチ（±2・5センチ）で細骨材率43・5%。粗骨材は砂利25ミリ、細骨材は砂、混和剤は高性能AE減水剤標準形I種を使用した。

生コンは伊勢市内の久で製造し、施工は組合員の南島コンクリートのグループ会社宮本建設が行った。ホッパーで荷卸し、バイブレーターで振動締固め、人力で仕上げ

し初期塗膜養生剤「キューアキーパー」を散布した。見学会当日は風が強く散布量を増やして対応。1時間弱で施工を完了した。

見学会後に同センター内で研修会を開き太平洋セメント・セメント事業本部営業部営業推進グループの上田宣人氏が「コンクリート舗装の特徴と最新の技術」、「1 DAY PAVE」施工事例」を講演した。「1 DAY PAVE」の累計施工面積は同見学会の施工を含めて4万5165平方メートルに達しており試験施工、公共工事、民間工事それぞれ3分の1程度の比率を占める。昨年度に1・6万平方メートルが施工されており、施工実績は増加傾向にある。